

全国牛乳容器環境協議会会員各位

2012年7月
全国牛乳容器環境協議会
会長 中畠 賢治



容環協の新組織体制づくりに向けたご協力をお願い

拝啓

容環協会員様にはますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、紙パックの特性をお伝えし、リサイクルを促進するために、乳業メーカーと紙容器メーカーで1992年に容環協を設立してから、今年の8月末で20周年を迎えます。

容環協は会員相互の連携協調を図り、環境問題に関する消費者の理解を深めるとともに、牛乳等の容器環境問題の改善に資することを目的としております。この目的に沿った活動をより強化するため、2012年5月開催の第21回通常総会において、組織体制の見直しを図られ、「総務委員会」「広報委員会」「イベント委員会」「支部組織委員会」の4つの専門委員会が設置されました。各専門委員会は5月下旬からその活動をスタートさせております。

そのなかで、「支部組織委員会」は長年の紙パックリサイクル活動を通して構築されてきた多くの関係者の皆様との連携の環をさらに強化し、新たな連携に繋げていくため、また、全国各地で紙パックリサイクルを含む環境活動に取り組まれている会員の方々や関係者の皆様のご意見、ご要望をお聞きするなかで、「地域に根差した活動」の重要性が改めて強く認識され、その課題に対応すべく設置されました。

「支部組織委員会」は現在専門委員3名と事務局1名で構成されており、容環協の会員各位が「地域に根差した活動」を展開するに当たっての情報交換や必要とする基本的な情報の提供、ツールのご提供など側面からのサポートを含めて協働・協力させていただく体制を築いていくことを使命としています。

会員各位がその地域で今まで以上に容環協としての活動を行いやすくするため、また、「支部組織委員会」のサポートが機能するための窓口としての役割を担って頂くには如何にあるべきかを検討しているところです。

就きましては、何かとお忙しい中恐縮ですが下記の活動概要をご一読いただき、地域の窓口としての「地域サポート委員（仮称）」のあり方と質問票にご回答賜りたくお願い申し上げます。

賜りました【ご意見・ご要望】の内容を参考に、会員各位が地域の紙パックリサイクル推進活動をより高めるために必要な支援活動のあり方に活かしてまいります。

敬具

記

1. 「地域サポート委員（仮称、以下同じ）」について

1) 地域サポート委員の重要性

- ① 容環協では各地域でリサイクル講習会等を行ってきていますが、現在の体制では実施後のフォローアップが不十分であり、せっかくの地域とのつながりが必ずしも継続しない状態です。地域とのつながりを保持する機能（地域の委員によるフォロー）が必要です。
- ② 自治体により紙パックの回収方法や取り巻く環境が異なっていますので、地域事情を把握し、その上で活動できる委員が必要になっています。

2) 「地域サポート委員」の活動

① 地域拠点としての窓口活動

容環協ホームページ及び「地域サポート委員」宛てのメールを通じて、「リサイクル促進地域会議」、「リサイクル講習会」や「小学校等への紙パックリサイクル出前授業」等のイベント情報を発信致します。お近くで開催される場合に、地域の関係者の皆様への参加の声かけ、自らの参加など地域での容環協活動をお願い致します。

② 地域の紙パックリサイクル情報の収集

地域の紙パックリサイクルに関する自治体の取組み情報や紙パックリサイクル活動をしている市民団体などを把握したり、学校から取組みたいという要望等、事務局との情報交換。

2. 「地域サポート委員」の活動について対外的にアピールします。

- ① 地域に根差した乳業メーカー、紙パックメーカーとして、地域社会への貢献をアピールできます。

（地域サポート委員の活動を容環協のホームページ等に掲載します）

- ② 活動のツールとして容環協のリーフレット、ちらし、冊子などを提供します。

- ③ 地域とのつながりの強化により、日常の生産・販売活動に良い効果が期待できます。

【ご要望・ご意見】

会員各位のご要望・ご意見を参考に、地域に根差した紙パックリサイクル推進活動をさらに支援していきたいと考えております。別紙の質問票へのご回答をお願いします。

以上